



谷口 和弥 議員
(無党派)

問

令和7年4月、北海道新
聞の取材で北海道内人口
上位12市のうち9市議会と北海道
議会で、自治体職員が議員の質問
をつくる「やらせ質問」や、自治
体職員が首長提案議案の「賛成討
論」をつくるのが横行している
ことを明らかにした。北海道新聞
ではその社説の中で「これらには有
権者の期待を裏切る行為であり、
地方自治の根幹である議会制民主
主義を形骸化させるものだ」と指
摘している。

ついては以下の点を伺う。

- (1)自治体職員が議員の「質問」や「賛成討論」をつくる行為に対す
る町長の見解は。
- (2)これまで幕別町議会において町
職員が議員の「質問」や「賛成討
論」をつくるケースはあったか。

町長

(1)「一般質問」は、定例会におい
て、議員が町の施策の状況や方針
等を行政機関に直接質すものであ
り、「討論」は、提出された議案

問 幕別町議会において「やらせ」はあったか

答 「やらせ質問・討論」はなかったと認識している

に対して、各議員が賛成、反対の
立場を表明し演説をするものであ
る。これらは、議員に与えられた
権利で、各議員の知見と活動の集
約であり、報道の「地方自治の根
幹である議会制民主主義を形骸化
させる」という指摘については当
然のこととして捉えている。

(2)「質問」や「討論」は議員の知
見と活動の集約であり、議員固有
の権利であることから、職員から
議員に対して質問の作成を依頼を



**問 「幕別町職員提案制度」を活
用し、職員のアイデアが生か
される職場に**

**答 近年の応募は低調に推移し
ているが、効率的な行財政
運営の推進に活用していく**

問 平成28年度から平成37年
(令和7年) 度までの10か
年を期間として、「第4次行政改
革大綱」を策定した。「同大綱」
には「政策決定や業務改善などの
様々な場面において、多様な手法
によりアイデアを募り、職員の能
力の活用を図るための「幕別町職
員提案制度」が示されている。

職員にとって自分のアイデアが
生かされる職場づくりは急務であ
ると考える。

ついては、これまでの「幕別町
職員提案制度」の提案件数及び採
用件数並びに職員提案制度活用の
成果について伺う。

町長

昭和61年度に創設された「幕別
町職員提案制度」は、職員からの
事務改善や町政に関する提案を求
め、町政への参加意欲を高めると
ともに行政運営の効率化を推進
し、町民サービスの向上を目的と
した制度である。

職員提案制度は、創意工夫によ
る具体的かつ現実的な提案が対象
であり、審査委員会の評価を踏ま
え、提案の採否は町長が決定する。
平成24年度からの実績は提案件数
13件、採用件数8件でありSNS
活用等、政策に反映している案件
もあるが、近年は応募件数が低調
に推移している。その要因として、
提案書提出には勇気が要る点や業
務多忙による時間不足が考えられ
る。制度活性化には周知や提案し
やすい環境整備が重要であり、職
員に日常の改善意識を持ち、遠慮
せず発言する姿勢を求めている。

本制度は、職員が広い視点を持
って業務改善に前向きに取り組む
姿勢を養い、人材育成や組織活性
化につながる有効な仕組みであ
る。本年度は新たな行政改革大綱
の策定に当たり、職員から改善事
項を含めた提案を募り、効率的な
行財政運営の推進に活用していく。